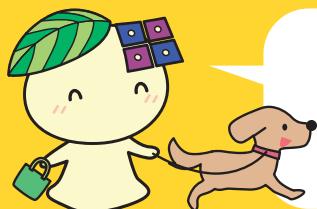


災害時の

ペット避難について

問合せ 区地域まちづくり課 4階44番 ☎06-6715-9022



災害はいつ起こるか分かりません。

避難が必要な場合には、ペットと一緒に避難場所まで避難する**“同行避難”**があります。自宅が安全な場合は**“在宅避難”**を行い、ペットのストレス軽減を行うことも大切です。

くわしくは
こちら▼



情報収集と家族の話し合い

避難を行う場合、受入体制がなければペットにも飼い主にも負担となります。

- ☐ 避難所等の確認
- ☐ 避難所でのペット受入体制の確認
- ☐ 家族間の連絡方法や集合場所の検討
- ☐ ペットの避難方法や役割分担
- ☐ 避難所以外のペット預け先の検討・調整



ペットのための備蓄品

災害に備えた備蓄品は様々ですが、以下の優先順位を意識して準備していきましょう。

優先順位① ペットの健康や命にかかわるもの

- ☐ 餌、水、療養食や薬など(7日分目安)、食器
- ☐ 予備の首輪やリード
- ☐ キャリーバッグ、ゲージ
- ☐ ペットシート、トイレ用品、排泄物の処理用具

優先順位② 各種情報

- ☐ 飼い主の連絡先、預け先情報など
- ☐ ペットの写真
- ☐ 健康記録(ワクチン接種状況等)
- ☐ かかりつけ医やトリミングサロンなど

優先順位③ ペットに必要な用品

- ☐ タオル、ブラシ、ウェットティッシュ
- ☐ お気に入りのおもちゃなどペットが安心できるもの
- ☐ 洗濯ネット(猫の逃げ出し保護に活用)



災害に備えて

災害でペットを守ることができるのは飼い主だけです。

飼い主が自らの安全を確保することが、災害時にもペットを適切に飼育することにつながります。

●住まいの安全対策

- ☐ 家具の固定、家電の転倒・落下防止
- ☐ 飼育場所の安全確認
- ☐ 飼育ゲージの固定
- ☐ ガラスの飛散防止

